



Sun Ultra 27 ワークス テーション設置マニュアル



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 821-0154-10
2009年4月、Revision A

Sun Microsystems, Inc. (以下米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。また、それらに限定されるものではありません。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Intel は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel Inside は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn8 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。Copyright(C) OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. Copyright(C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2009 All Rights Reserved.

「ATOK for Solaris」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Solaris」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK」および「推測変換」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK for Solaris」に添付するフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

「ATOK for Solaris」に含まれる郵便番号辞書(7桁/5桁)は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です(一部データの加工を行なっています)。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となる場合があります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としている国や、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Linker and Libraries Guide

Part No: 817-1984-18

Revision A

目次

はじめに	5
1 Sun Ultra 27 ワークステーションの紹介	9
パッケージの内容確認	9
外部接続およびコンポーネント	10
フロントパネル	10
背面パネル	11
ワークステーションの設定	12
▼ワークステーションを設定する	12
ワークステーションの電源の投入および切断	14
▼ワークステーションの電源を入れる	14
▼ワークステーションの電源を切断する	15
起動デバイスの追加および削除	16
▼起動デバイスを追加および削除する	16
オプションのコンポーネントの追加	16
2 オプションのプリインストールされた Solaris OS の構成およびプリインストールされ た開発者ソフトウェアの使用	17
サポートされているオペレーティングシステム	17
プリインストールされた Solaris 10 OS の構成	18
Solaris 10 OS のライセンス情報	18
ディスクレイアウト	18
プリインストールされた Solaris 10 OS を構成する準備	18
▼プリインストールされた Solaris 10 OS を構成する	20
Solaris オペレーティングシステムの復元および再インストール	21
▼Solaris OS を復元する	21
▼Solaris OS を再インストールする	21
プリインストールされた開発者ソフトウェアについて	21

Sun Studio 12 ソフトウェア	22
NetBeans IDE	22
追加のツールおよびソフトウェア	23
A システムの複数モニターの構成	25
複数モニターをサポートするための Sun Ultra 27 ワークステーション オペレーティングシステムの構成	25
▼ Solaris OS で複数モニターを構成する	25
▼ Windows で複数モニターを構成する	26
▼ Linux で複数モニターを構成する	27
B トラブルシューティングおよび技術サポート	29
Sun Ultra 27 ワークステーション 設定のトラブルシューティング	29
技術サポートの取得	31
C Sun Ultra 27 ワークステーションシステムの仕様	35
システムコンポーネントと機能	35
PCIe および PCI 拡張スロット	36
その他のポート	37
メモリーのルールとサポートされる構成	38
メモリー割り当てルール	38
サポートされているメモリー構成	38
物理仕様	39
電力仕様	39
環境仕様	40
索引	41

はじめに

『Sun Ultra 27 ワークステーション設置マニュアル』では、ワークステーションのハードウェアとソフトウェアを設定および構成する方法について説明します。このマニュアルは、技術者、システム管理者、承認サービスプロバイダ (Authorized Service Provider、ASP)、およびトラブルシューティングとハードウェアの交換に熟練しているユーザーを対象としています。

関連マニュアル

Sun Ultra 27 ワークステーションのドキュメントセットについては、システムに付属の『Where To Find Sun Ultra 27 Workstation Documentation』シートを参照してください。また、次の URL から Sun Ultra 27 ワークステーションのドキュメントを入手することもできます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/ultra.work#hic>

一部のマニュアルは、簡体字中国語版、繁体字中国語版、フランス語版、日本語版、ドイツ語版、スペイン語版、および韓国語版に翻訳されています。

英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは、次の追加リソースに関する情報も提供しています。

- マニュアル (<http://www.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://www.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://www.sun.com/training/>)

コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントを送信するには、<http://docs.sun.com>に移動して、「フィードバック (Feedback)」をクリックしてください。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% su password:
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- このマニュアルでは、英語環境での画面イメージを使っています。このため、実際に日本語環境で表示される画面イメージとこのマニュアルで使っている画面イメージが異なる場合があります。本文中で画面イメージを説明する場合には、日本語のメニュー、ボタン名などの項目名と英語の項目名が、適宜併記されています。

安全に関する情報

安全に関する情報については、次のドキュメントを参照してください。

- 『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』
- 『Sun Ultra 27 ワークステーション Safety and Compliance Guide』

Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

コンポーネントの注文方法

Sun Ultra 27 ワークステーションの追加のコンポーネントや交換部品を注文できます。詳細については、最寄りの Sun セールススタッフにお問い合わせください。最新のコンポーネント情報については、次の URL にある Sun Ultra 27 ワークステーションコンポーネントリストを参照してください。

http://sunsolve.sun.com/handbook_pub/

Sun Ultra 27 ワークステーションの紹介

この章では、Sun Ultra 27 ワークステーションのハードウェアの概要を説明します。次の項目について説明します。

- 9 ページの「パッケージの内容確認」
- 10 ページの「外部接続およびコンポーネント」
- 12 ページの「ワークステーションの設定」
- 14 ページの「ワークステーションの電源の投入および切断」
- 16 ページの「起動デバイスの追加および削除」

パッケージの内容確認

梱包用の箱からワークステーションのすべてのコンポーネントを慎重に取り出します。パッケージには、次の品目が含まれています。

ハードウェア	<ul style="list-style-type: none">■ Sun Ultra 27 ワークステーション■ DMS-59 ケーブル (ワークステーションに NVS290 グラフィックスカードが装備されている場合)
マニュアルおよびメディアキット ¹	<ul style="list-style-type: none">■ 『Sun Ultra 27 ワークステーション設置マニュアル』 (このマニュアル)■ 『Where To Find Sun Ultra 27 Workstation Documentation』 (この製品に関連する入手可能なオンラインドキュメントのリスト)■ Sun 安全性、保証、およびライセンスに関するドキュメント■ Sun Ultra 27 ワークステーションの Tools and Drivers DVD (詳細については、23 ページの「追加のツールおよびソフトウェア」を参照してください)■ Sun VTS CD

¹ 追加のメディアキットは X-Option として入手可能です。

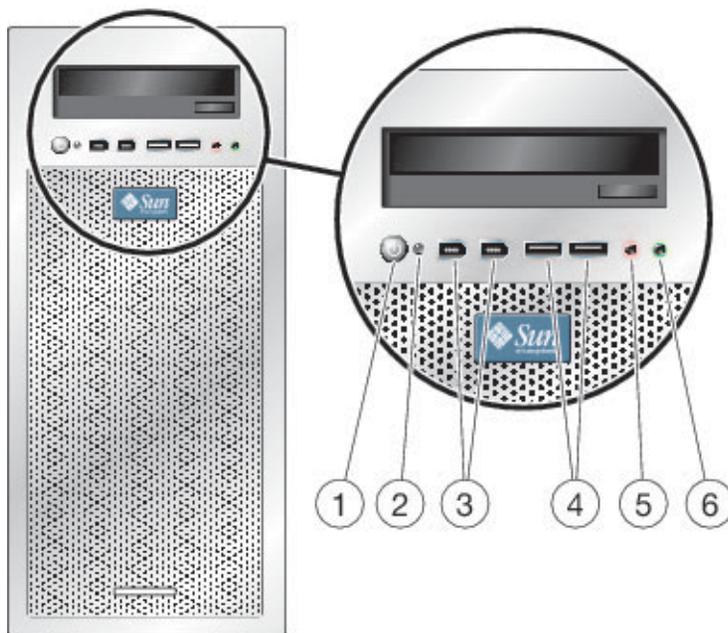
オプションのカントリーキットを注文した場合、キットは個別のパッケージで出荷され、電源ケーブル、キーボード、およびマウスが含まれています。

注 - Sun Ultra 27 ワークステーションでは、Type 7 キーボードとマウスのみを使用します。

外部接続およびコンポーネント

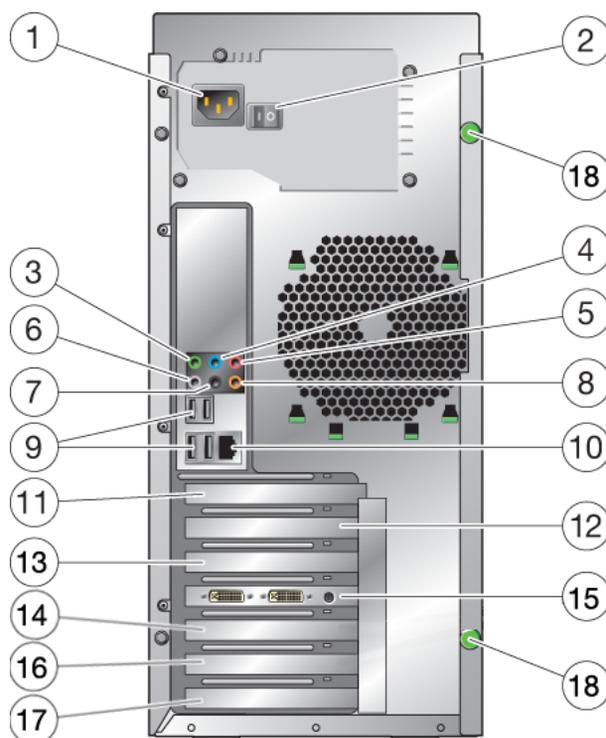
このセクションを参照して、ワークステーションの外部接続およびコンポーネントについてよく理解してください。

フロントパネル



1	電源ボタン	4	2個の USB ポート
2	電源 LED	5	マイク入力ジャック
3	2個の 1394 ポート	6	ヘッドホン出力ジャック

背面パネル



1	AC 電源コネクタ	10	Ethernet コネクタ
2	電源スイッチ	11	カバープレート (スロットなし)
3	オーディオジャック (緑)	12	スロット 0、PCIe2 x16
4	ライン入力ジャック (青)	13	スロット 1、PCIe2 (x8 メカニカル、x4 エレクトリカル)
5	マイク入力ジャック (青)	14	スロット 2、PCIe2 x16

6	オーディオジャック(グレー)	15	スロット 3、PCIe x1
7	オーディオジャック(黒)	16	スロット 4、PCI 33MHz、32 ビットスロット
8	オーディオジャック(オレンジ)	17	スロット 5、PCIe (x8 メカニカル、x4 エレクトリカル)
9	4個の USB 2.0 ポート	18	つまみねじ(サイドカバー用)

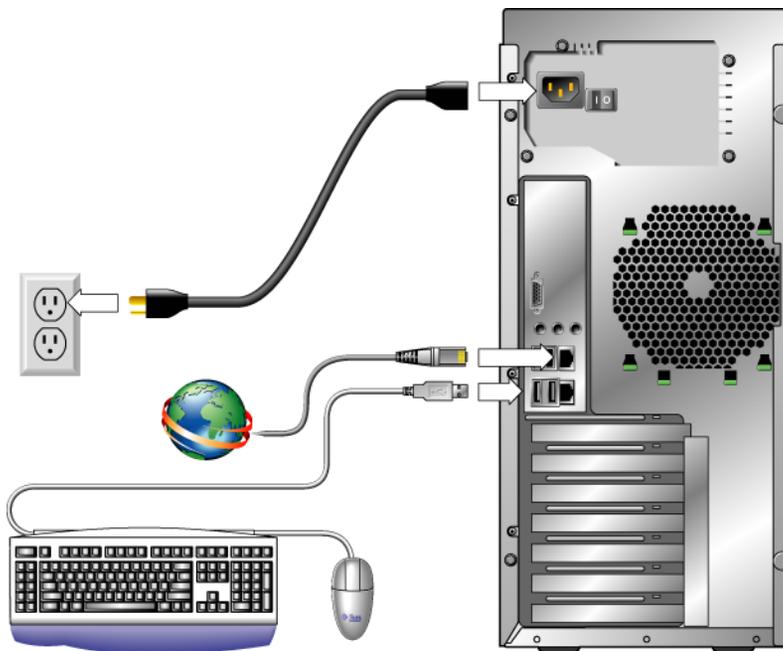
ワークステーションの設定

このセクションでは、電源、周辺機器、およびネットワークの接続方法を説明します。

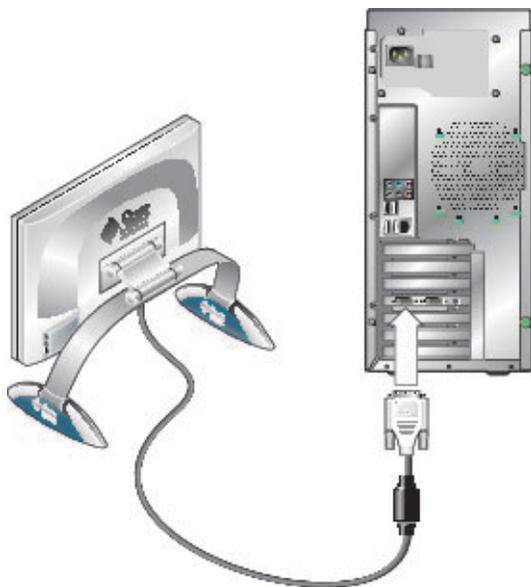
注 - 最大限の信頼性とパフォーマンスを得るために、ワークステーションは [40 ページ](#)の「環境仕様」セクションに記載された環境仕様に準拠している環境に設置し、ワークステーションがこのマニュアルで説明されているとおりに正しく設定されていることを確認してください。

▼ ワークステーションを設定する

- 1 ワークステーションの電源コードをアースされた電源コンセントに接続します。



- 2 キーボードを、フロントパネルまたは背面パネルの **USB** コネクタに接続します。
- 3 マウスを、キーボードの底面にある **USB** コネクタ、またはフロントパネルまたは背面パネルの **USB** コネクタに接続します。
- 4 **Ethernet** ケーブルを **Sun Ultra 27** ワークステーションに接続し、ケーブルのもう一方の端を **Ethernet RJ-45** ジャックに接続します。
- 5 モニターをグラフィックスカードコネクタに接続します。
複数のモニターの接続方法については、[付録 A 「システムの複数モニターの構成」](#) を参照してください。



注- モニターを接続するために、グラフィックスカードにDVIケーブルが必要となる場合があります。

- 6 追加の外部デバイスをワークステーションに接続するには、フロントパネルまたは背面パネルのコネクタを使用します。
外部起動デバイスを追加する場合は、16ページの「起動デバイスの追加および削除」セクションを参照してください。

ワークステーションの電源の投入および切断

このセクションでは、ワークステーションの電源を適切に投入および切断する方法について説明します。

▼ ワークステーションの電源を入れる

- 1 モニターおよびすべての外部デバイスの電源を入れます。
- 2 ワークステーションの背面にある電源スイッチを **On (I)** の位置にします。
- 3 フロントパネルの電源スイッチを押してから放します。

- 4 数秒後、電源スイッチの横にある電源 LED が点灯していることを確認します。
電源 LED は、ワークステーションが内部起動プロセスを開始したのちに点灯します。
- 5 BIOS のシステムパラメータを変更するには、POST プロセス中に F8 キーを押して、BIOS 設定ユーティリティにアクセスします。



注意 - BIOS のパラメータの変更によってシステムが機能不良になる場合があるため、システム BIOS を変更するときは十分に注意してください。BIOS 設定ユーティリティについては、『Sun Ultra 27 Workstation service manual』を参照してください。

▼ ワークステーションの電源を切断する

- 1 データを保存し、開いているアプリケーションを閉じます。
- 2 次の電源切断オプションのいずれかを使用します。
 - a. オペレーティングシステムのシャットダウンコマンドまたはメニューオプションを使用します。



注意 - データの損失を避けるため、可能なかぎり 1 番目のオプションを使用してください。

- b. 最初の手順でワークステーションの電源が切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間押してから放します。
 - c. 前記のオプションでワークステーションの電源が切れない場合は、背面パネルの電源スイッチを **Off (0)** の位置にします。

注 - ワークステーションの電源を切ったあと、ワークステーションの電源を再投入する場合は、10 秒以上間をあけてください。

起動デバイスの追加および削除

BIOS 設定ユーティリティーの起動画面には、ワークステーションを起動できることがわかっているデバイスが一覧表示されます。新たに設置または取り付けられたデバイスから起動するには、最初に BIOS 設定ユーティリティーにアクセスして、そのデバイスを起動リストに追加する必要があります。また、リストからデバイスを削除したり、デバイスの順序を調整して起動優先順位を指定したりすることもできます。



注意 - 不正な BIOS 設定は、ワークステーションを機能不良にする場合があります。BIOS 設定ユーティリティーで変更を加える場合には、十分に注意してください。

▼ 起動デバイスを追加および削除する

- 1 ワークステーションの電源を入れます (14 ページの「ワークステーションの電源の投入および切断」を参照)。
システムが起動します。
- 2 システムの起動中に **F2** キーを押します。
BIOS セットアップ画面が表示されます。
- 3 矢印キーを使用して、「起動 (**Boot**)」メニューに移動します。
- 4 「起動設定 (**Boot Settings**)」メニューの起動デバイスのリストで、デバイスを追加または削除します。
- 5 必要に応じて、優先順位の高いデバイスをリストの上部に移動して、起動デバイスの優先順位を変更します。
- 6 **F10** キーを押して、設定を保存し、終了します。

オプションのコンポーネントの追加

ワークステーションの現在の設定で可能な場合は、拡張カード、グラフィックスカード、メモリー、ハードドライブなどのオプションのコンポーネントを追加できます。オプションのコンポーネントをワークステーションに追加するには、『Sun Ultra 27 ワークステーション Service Manual』の関連するセクションと手順を参照してください。

オプションのプリインストールされた Solaris OS の構成およびプリインストールされた開発者ソフトウェアの使用

Sun Ultra 27 ワークステーションには、Solaris™ 10 OS および追加の開発者ソフトウェアがプリインストールされている場合があります。この章では、プリインストールされた Solaris 10 OS の構成手順を示すとともに、追加の開発者ソフトウェアについても説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- 17 ページの「サポートされているオペレーティングシステム」
- 18 ページの「プリインストールされた Solaris 10 OS の構成」
- 21 ページの「Solaris オペレーティングシステムの復元および再インストール」
- 21 ページの「プリインストールされた開発者ソフトウェアについて」
- 23 ページの「追加のツールおよびソフトウェア」

サポートされているオペレーティングシステム

Sun Ultra 27 ワークステーションには、次のサポートされているオペレーティングシステムのいずれかのバージョンをインストールできます。

- Solaris 10 OS
- Open Solaris OS
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux
- Windows XP、Windows 2008
- Windows Vista Ultimate

上記のオペレーティングシステムのサポートされているバージョンの最新リストは、次の URL の Sun Ultra 27 ワークステーション 製品ページで参照できます。

<http://www.sun.com/desktop/index.jsp>

Linux、Windows のサポートされているバージョン、または Solaris OS の別のバージョンのインストール方法については、『Sun Ultra 27 ワークステーション Linux

および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』または『Sun Ultra 27 ワークステーション Windows オペレーティングシステムインストールガイド』を参照してください。

プリインストールされた **Solaris 10 OS** の構成

このセクションでは、次の項目について説明します。

- 18 ページの「Solaris 10 OS のライセンス情報」
- 18 ページの「ディスクレイアウト」
- 18 ページの「プリインストールされた Solaris 10 OS を構成する準備」

Solaris 10 OS のライセンス情報

システムにインストール済みの Solaris 10 OS には、ライセンス料金は必要ありません。詳細については、以下の URL にアクセスしてください。

<http://www.sun.com/software/solaris/licensing/index.xml>

ディスクレイアウト

Solaris 10 OS がプリインストールされている場合、ワークステーションの起動ハードドライブ (Hard Drive、HD) は次のように構成されます。

- ハードドライブのルートパーティション: 14.0 Gバイト (Solaris 10 OS)
- スワップパーティション: 2.0 Gバイト
- /var パーティション: 6.0 Gバイト
- 残りのディスク: /export 用

プリインストールされた **Solaris 10 OS** を構成する準備

表 2-1 のコピーを使用して、Solaris 10 OS を設定する前に収集する必要がある情報を書き出します。

開始する前に、システム管理者 (System Administrator、SA) に使用中のサイトに固有の情報を問い合わせしてから、表に情報を埋めてください。一部の情報がネットワーク上で入手可能かどうかは、SA と一緒に確認してください。

表 2-1 プリインストールされた Solaris 10 OS の構成に関する情報

設定ウィンドウ	説明および注意事項	お客様の情報
「言語およびロケールの選択 (Select Language and Locale)」	ワークステーションで使用するネイティブの言語とロケール。	
「ホスト名 (Host Name)」	ワークステーションに付ける名前。	
「ターミナルタイプ (Terminal Type)」	ワークステーションで使用するターミナルのタイプ。	
「ネットワーク接続 (Network Connectivity)」 (IP アドレス)	ネットワークまたはスタンドアロンワークステーションのプロトコル。このセクションは、システム管理者に埋めてもらう必要がある場合があります。 注: 回答の内容およびネットワークによって提供されている情報の種類に応じて、ワークステーションの IP アドレスの入力を要求されることがあります。	
「IPv6」	ワークステーション上で IPv6 を有効にするためのオプション。	
「セキュリティ設定 (Security Settings)」	セキュリティ設定とプロトコル。	
「ネームサービス (Name Service)」	注-使用するネームサービス。NIS+、NIS、DNS、LDAP、または None のいずれかを指定します。 注-このウィンドウは、ワークステーションがネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。	
「ドメイン名 (Domain Name)」	このワークステーションの NIS ドメインまたは NIS+ ドメイン。 注-このウィンドウは、NIS または NIS+ がネームサービスとして指定されている場合にのみ表示されます。	

表 2-1 プリインストールされた Solaris 10 OS の構成に関する情報 (続き)

設定ウィンドウ	説明および注意事項	お客様の情報
「ネームサーバー/サブネット/サブネットマスク (Name Server/ Subnet/ Subnet Mask)」	<p>ネームサーバー (サーバーを指定するか、ワークステーションを使用してローカルサブネット上のサーバーを検出します)。</p> <p>注-このウィンドウは、ワークステーションがネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。</p> <p>注-回答の内容およびネットワークによって提供されている情報の種類に応じて、次の情報の入力を要求されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ワークステーションのサブネット ■ ワークステーションのサブネットマスク 	
「タイムゾーン (Time Zone)」	ローカルタイムゾーン (地理的な領域、GMT オフセット、またはタイムゾーンファイルによって選択されます)。	
「日付と時刻 (Date and Time)」	現在の日付と時刻 (デフォルトを受け入れるか、現在の日付と時刻を入力します)。	
「ルートパスワード (Root Password)」	ワークステーションのルート (スーパーユーザー) パスワード。	
「プロキシサーバー構成 (Proxy Server Configuration)」	ワークステーション接続: インターネットに直接、またはプロキシサーバー経由。	

▼ プリインストールされた Solaris 10 OS を構成する

- 1 ワークステーションの電源を入れます (14 ページの「ワークステーションの電源の投入および切断」を参照)。
- 2 画面上の指示に従い、収集した情報の表を参照しながら、プロンプトに入力していきます。
- 3 構成が終了すると、システムが再起動します。
- 4 デフォルトのユーザー名とパスワードを入力してログインし、ワークステーションを使用し始めます。
 デフォルトのユーザー名: **root**
 デフォルトのパスワード: **changeme**

5 プリインストールされたソフトウェアに関する最新情報については、『Sun Ultra 27 ワークステーションご使用にあたって』を参照してください。

6 システム OS のバックアップを作成します。
バックアップは、OS を復元する際に使用されます。

OS をバックアップする手順は、『Solaris 10 System Administration Collection』に記載されています。このマニュアルは、<http://docs.sun.com/> から入手可能です。

Solaris オペレーティングシステムの復元および再インストール

システムのハードドライブに、Solaris 10 OS や追加の開発者ソフトウェアアプリケーションなどのプリインストールされたソフトウェアが含まれている場合があります。プリインストールされた OS では、ワークステーションのハードウェアをサポートするために必要なドライバが事前に構成されています。このセクションでは、復元および再インストールの手順について説明します。

▼ Solaris OS を復元する

- OS を復元するには、システム OS のバックアップを使用します。

▼ Solaris OS を再インストールする

- 『Sun Ultra 27 ワークステーション Linux および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』の手順に従い、OS を構成し、ドライバをインストールします。

プリインストールされた開発者ソフトウェアについて

Sun Ultra 27 ワークステーションには、次に示す最小バージョンの Sun の開発者ソフトウェアがプリインストールされています。次のセクションでは、各開発者ソフトウェアパッケージの概要について説明します。

- 22 ページの「Sun Studio 12 ソフトウェア」
- 22 ページの「NetBeans IDE」

システムによっては、このソフトウェアのより新しいバージョンがプリインストールされている場合があります。

Sun Studio 12 ソフトウェア

Sun Studio ソフトウェアは、Solaris、OpenSolaris、および Linux オペレーティングシステム用の、ハイパフォーマンスで最適な C、C++、および Fortran 開発者ツールチェーンです。マルチコアの x86 および SPARC ベースのシステムにも対応しています。ツールチェーンには、並列化コンパイラ、コードレベルおよびメモリーデバッグ、パフォーマンスおよびスレッド解析ツール、OpenMP サポート、最適化された数値演算ライブラリが含まれます。次世代 NetBeans ベースの IDE によって、マルチコアアプリケーションをかつてないほど簡単に開発できます。

Java™ Native Interface (JNI) 開発で必要な場合に有効にできる、一連の Java 言語の基本サポートモジュールが含まれています。

Sun Studio ソフトウェアは、2つの主要なコンポーネントから構成されています。

1. Sun Studio コンポーネント。IDE、コンパイラ、ツール、およびコアプラットフォームフォームを含んでいます。
2. コアプラットフォームフォームを稼働させる Java 2 プラットフォーム (Java 2 Platform, Standard Edition, J2SE) テクノロジー。

Sun Studio ソフトウェアの詳細、またはソフトウェアのダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<http://developers.sun.com/sunstudio>

NetBeans IDE

NetBeans IDE 5.0 には、Java 2 プラットフォーム (Java 2 Platform, Enterprise Edition, J2EE) 開発機能が含まれています。この新しいリリースは、開発者の Web 層でのアプリケーション開発を可能にするだけでなく、Enterprise JavaBean (EJB) と Web サービス開発機能が組み込まれています。

NetBeans IDE は、すぐに使える開発機能を備えた単一のプラットフォームで、エンタープライズ (J2EE 1.4) アプリケーションおよび Web サービス、モバイルまたはワイヤレス Java 2 プラットフォーム (Java 2 Platform, Micro Edition, J2ME) アプリケーションおよびサービス、デスクトップ Java 2 プラットフォーム (Java 2 Platform, Standard Edition, J2SE) アプリケーションをサポートします。強力なオープンソースの Java IDE には、Java ソフトウェア開発者がクロスプラットフォームのデスクトップ、Web、およびモバイルアプリケーションを開発するために必要なすべてのものがすぐに使える状態で揃っています。

NetBeans IDE の詳細、またはソフトウェアのダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<http://www.netbeans.org>

追加のツールおよびソフトウェア

ワークステーションに付属の Sun Ultra 27 ワークステーション Workstation Tools and Drivers DVD には、次のソフトウェアが含まれています。

- 補助ドライバ。プリインストールされたオペレーティングシステム、およびサポートされているユーザーインストールのオペレーティングシステムをサポートします。これらのドライバのインストール方法については、『Sun Ultra 27 ワークステーションワークステーションオペレーティングシステムガイド』を参照してください。
- Eurosoft Pc-Check 診断ソフトウェア。Sun Ultra 27 ワークステーションの各種診断テストオプションを提供します。詳細については、『Sun Ultra 27 Workstation service manual』を参照してください。
- Erase Primary Boot Hard Disk (プライマリ起動ハードディスクの消去) ユーティリティ。プリインストールされたオペレーティングシステムを消去するために使用されます。
- XpReburn ユーティリティ。既存の Windows インストール CD にドライバを追加するために使用されます。
- 2003Reburn ユーティリティ。既存の Windows 2003 インストール CD にドライバを追加するために使用されます。
- open dos。cd 内をナビゲートし、コマンド行ユーティリティを実行できます。

注 - ワークステーションに付属の Tools and Drivers DVD は、最新バージョンでない場合があります。詳細については、『Sun Ultra 27 ワークステーションご使用にあたって』または製品の Web サイトを参照してください。

システムの複数モニターの構成

この付録では、Windows、Linux、およびSolaris OSのサポートされているバージョンを、Sun Ultra 27ワークステーション上の複数のモニターに対応するように構成する方法について説明します。

複数モニターをサポートするためのSun Ultra 27ワークステーションオペレーティングシステムの構成

このセクションでは、サポートされているオペレーティングシステムで複数モニターをサポートするように構成する手順を説明します。

▼ Solaris OSで複数モニターを構成する

- 1 必要な場合は、2番目のグラフィックスカードを取り付けます。
オプションカードのインストール方法については、『Sun Ultra 27 Workstation service manual』を参照してください。
- 2 1台のモニターを各グラフィックスカードのビデオコネクタに接続し、システムを起動します。
システムは、PCIe スロット 2 (デフォルト) に出力します。この出力先は、「詳細 (Advanced)」メニューの「開始 (Initiate)」サブメニューの下にある「BIOS グラフィックアダプタ (BIOS Graphic Adapter)」画面で変更できます。
- 3 システムの起動時に、**Tools and Drivers DVD** を挿入して、ディレクトリを次の場所に変更します。

```
/mount_point/ T&D_version_name/drivers/sx86
```

ここで、*mount_point* は DVD のマウントポイントです。

T&D_version_name は、Tools and Drivers DVD の名前です。

- 4 `install.sh` スクリプトを実行します。
- 5 `install.sh` スクリプトが正常に完了したら、システムを再起動します。
- 6 ログインします。
- 7 「X サーバーのディスプレイ構成 (X Server Display Configuration)」で「マルチディスプレイモードの設定 (Set up multi-display mode)」を選択します。
- 8 「適用 (Apply)」をクリックして、新しい構成で X サーバーを更新します。
- 9 「X 構成ファイルに保存 (Save to X Configuration File)」をクリックし、ディスプレイ構成を `/etc/X11/xorg.conf` ファイルに保存します。

▼ Windows で複数モニターを構成する

- 1 必要な場合は、2 番目のグラフィックスカードを取り付けます。
オプションカードのインストール方法については、『Sun Ultra 27 Workstation service manual』を参照してください。
- 2 1 台のモニターを各グラフィックスカードのビデオコネクタに接続し、システムを起動します。
システムは、PCIe スロット 2 (デフォルト) に出力します。この出力先は、「詳細 (Advanced)」メニューの「開始 (Initiate)」サブメニューの下にある「BIOS グラフィックアダプタ (BIOS Graphic Adapter)」画面で変更できます。
- 3 システムの起動時に、**Tools and Drivers DVD** を挿入して、ディレクトリを次の場所に変更します。
`/cdrom/T&D_disk_version/drivers/windows/video`
T&D_version_name は Tools and Drivers DVD のバージョン名です。
- 4 適切な OS (32 ビットまたは 64 ビット) に変更し、ビデオドライバをロードします。
- 5 システムを再起動します。
- 6 システムトレイから **Nvidia Control Panel** を開き、「ディスプレイ (Display)」の下の「複数ディスプレイの実行ウィザード (Run multiple display wizard)」をクリックして、マルチディスプレイ設定を有効にしカスタマイズします。

- 7 パラメータを適切に調整します。
システムに両方の画面を認識させるために、2回目の再起動が必要となる場合があります。

▼ Linux で複数モニターを構成する

- 1 必要な場合は、2番目のグラフィックスカードを取り付けます。
オプションカードのインストール方法については、『Sun Ultra 27 Workstation service manual』を参照してください。
- 2 1台のモニターを各グラフィックスカードのビデオコネクタに接続し、システムを起動します。
システムは、PCIe スロット 2 (デフォルト) に出力します。この出力先は、「詳細 (Advanced)」メニューの「開始 (Initiate)」サブメニューの下にある「BIOS グラフィックアダプタ (BIOS Graphic Adapter)」画面で変更できます。
- 3 システムの起動時に、**Tools and Drivers DVD** を挿入して、ディレクトリを次の場所に変更します。

```
/cdrom/T&D_disk_name/drivers/linux/ OS
```


T&D_disk_name は Tools and Drivers ディスクの名前で、OS は **redhat** または **suse** のいずれかです。
- 4 `install.sh` スクリプトを実行します。
- 5 `install.sh` スクリプトが正常に完了したら、システムを再起動します。
- 6 ログインして、ターミナルウィンドウで **Nvidia** 設定を実行します。
- 7 「X サーバーのディスプレイ構成 (X Server Display Configuration)」でマルチディスプレイモードを設定します。
- 8 「適用 (Apply)」をクリックして、新しい構成で X サーバーを更新します。
- 9 「X 構成ファイルに保存 (Save to X Configuration File)」をクリックし、ディスプレイ構成を `/etc/X11/xorg.conf` ファイルに保存します。

トラブルシューティングおよび技術サポート

この付録には、マイナーなシステム問題のトラブルシューティングに役立つ情報と、技術サポートの連絡先に関する情報が記載されています。

- 29 ページの「Sun Ultra 27 ワークステーション 設定のトラブルシューティング」
- 31 ページの「技術サポートの取得」

Sun Ultra 27 ワークステーション 設定のトラブルシューティング

システムの設定中に問題が発生した場合は、表 B-1 のトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティングの詳細については、『Sun Ultra 27 Workstation service manual』を参照してください。

表 B-1 トラブルシューティングの手順

問題	問題への対処方法
システムの電源がオンなのに、モニターの電源がオンになりません。	<ul style="list-style-type: none">■ モニターの電源ボタンがオンになっていることを確認してください。■ モニターの電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認してください。■ 電源コンセントに電力が供給されていることを確認してください。確認するには、別のデバイスを差し込んでテストしてください。■ モニターがオンボードビデオコネクタまたは PCI Express ビデオコネクタに接続されていることを確認してください。
取り出しボタンを押したときに、CD または DVD をメディアトレイから取り出せません。	<ul style="list-style-type: none">■ マウスを移動させるか、キーボード上のいずれかのキーを押してください。ドライブが低消費電力モードになっていることがあります。■ システムにインストールされているユーティリティーソフトウェアを使用して、CD を取り出してください。

表 B-1 トラブルシューティングの手順 (続き)

問題	問題への対処方法
モニター画面にビデオが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ モニターケーブルがオンボードビデオコネクタまたは PCI Express ビデオコネクタに接続されていることを確認してください。 ■ モニターが、別のシステムに接続された場合に動作することを確認してください。 ■ 正しく動作することが分かっているモニターがある場合は、それをこのシステムに接続して、正しく動作するか確認してください。 ■ BIOS 設定が正しいことを確認してください。 ■ 特定のソフトウェアおよびハードウェアの構成に影響する問題については、『Sun Ultra 27 ワークステーション ご使用にあたって』を参照してください。
フロントパネルにある電源ボタンが押されているのに、システムの電源がオンになりません。	<p>サービス担当者に連絡する必要がある場合は、次の状況を書き留めておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ システム背面の電源スイッチがオンになっていることを確認してください。 ■ システムの前面パネルにある電源 LED が点灯していることを確認してください(電源コードが、システムおよび接地電源コンセントに接続されていることを確認してください)。 ■ 電源コンセントに電力が供給されていることを確認してください。確認するには、別のデバイスを差し込んでテストしてください。 ■ システムの電源を投入したときにピープ音が鳴ることを確認してください(キーボードが差し込まれていることを確認してください)。 ■ 機能することがわかっている別のキーボードでテストしてください。キーボードを接続し、システムの電源を投入したときに、ピープ音が鳴ることを確認してください。 ■ 電源の投入後、5分以内にモニターが同期することを確認してください(モニターの緑色の LED が点滅を停止し、点灯状態になります)。
キーボードまたはマウスが操作に反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ キーボードケーブルがシステムのオンボード USB 2.0 コネクタに接続され、マウスがキーボードまたはシステムの USB コネクタに接続されていることを確認してください。 ■ システムの電源がオンで、前面の電源 LED が点灯していることを確認してください。
システムが低消費電力モードのようだが、電源ボタンの LED が点滅しません。	<p>電源 LED は、すべてのシステムコンポーネントが低消費電力モードの場合のみ点滅しません。テープドライブがシステムに接続されている可能性があります。テープドライブは低消費電力モードにならないので、電源 LED は点滅しません。</p>

表 B-1 トラブルシューティングの手順 (続き)

問題	問題への対処方法
システムが機能停止しました。	キーボードとマウスが Type 7 であることを確認してください (キーボードの底面でモデルを確認してください)。
マウス、キーボード、またはどのアプリケーションからも応答がありません。	<p>ネットワーク上の別のシステムから使用中のシステムへアクセスしてみてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ターミナルウィンドウから ping hostname を入力します。 応答がない場合は、別のシステムから telnet または rlogin を使用してリモートでログインし、再度 ping hostname コマンドを入力します。 システムが応答するまでプロセスを終了してみます。 <p>この手順で解決しない場合は、次を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 電源ボタンを押して、システムの電源をオフにします。 20 ~ 30 秒待ってから、システムの電源をオンにします。

技術サポートの取得

この付録のトラブルシューティングの手順を使用しても問題を解決できない場合は、表 B-2 を使用して、サポート担当者とのやり取りに必要な可能性がある情報を収集してください。

注 - 表 B-3 には、Sun のテクニカルサポートの Web サイトおよび電話番号が一覧表示されています。

表 B-2 サポートに必要なシステム構成情報

必要なシステム構成情報	お客様の情報
Sun サービス契約番号	
システムモデル	
オペレーティングシステム。サービスパック番号またはアップデート番号を含む。	
システムのシリアル番号	
システムに接続されている周辺装置	

表 B-2 サポートに必要なシステム構成情報 (続き)

必要なシステム構成情報	お客様の情報
次を含むハードウェア構成情報。 <ul style="list-style-type: none"> ■ インストールされているグラフィックスカード ■ インストールされている PCI または PCI Express カード ■ メモリー量 ■ プロセッサ速度 ■ 光ディスクのタイプ 	
お客様の電子メールアドレスと電話番号、および代理の連絡先	
システムの設置場所の住所	
スーパーユーザーパスワード	
問題の概要と、問題が発生したときに実行した操作内容	
診断テストの出力 (適用可能な場合)	
その他の役に立つ情報	
IP アドレス	
ワークステーション名 (システムのホスト名)	
ネットワークまたはインターネットのドメインネーム	
プロキシサーバー構成	

表 B-3 Sun Web サイトおよび電話番号

ワークステーションのドキュメントおよびサポートリソース	URL または電話番号
ディスカッションおよびトラブルシューティングのフォーラム	http://supportforum.sun.com/
すべての Sun 製品に関するサポート、診断ツール、および警告	http://www.sun.com/bigadmin/
ソフトウェアパッチ、システムの仕様リスト、トラブルシューティング、および保守の情報、その他のツール	http://www.sunsolve.sun.com/handbook_pub/
サービスサポートの電話番号	1-800-872-4786 (1-800-USA-4Sun) オプション 1 を選択してください。
Sun サービスサポートの国際電話番号	http://www.sun.com/service/contacting/solution.html
保証および契約のサポート連絡先、その他のサービスツールへのリンク	http://www.sun.com/service/warrantiescontracts/

表 B-3 Sun Web サイトおよび電話番号 (続き)

ワークステーションのドキュメントおよびサポート リソース	URL または電話番号
Sun 製品の保証	http://www.sun.com/service/warranty

Sun Ultra 27 ワークステーションシステムの仕様

システムコンポーネントと機能

表 C-1 に、システムの主要なコンポーネントを示します。

表 C-1 Sun Ultra 27 ワークステーションのコンポーネント

コンポーネント	説明
CPU	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Xeon プロセッサ (W3570、W3540、または W3520) × 1 基■ プロセッサ周波数: 3.2、2.93、または 2.66 GHz■ DDR3 メモリーコントローラ■ Level 2 キャッシュ 8 MB■ 130 W
メモリー	<ul style="list-style-type: none">■ DDR3 Unbuffered DIMM 用スロット × 6■ サポートされる DIMM: 1 Gバイト 1066 MHz、2 Gバイト 1066 MHz、2 Gバイト 1333 MHz
メディア スト レージ	DVD-Dual
ハードド ライブ	最大 4 台: 500 Gバイト または 1 Tバイト SATA または 300 Gバイト または 450 Gバイト SAS
電源装置	530 W PSU

表 C-1 Sun Ultra 27 ワークステーションのコンポーネント (続き)

コンポーネント	説明
ネットワーク I/O	<ul style="list-style-type: none"> ■ ギガビット Ethernet ポート×1 (背面パネル) ■ Intel Pro 1000 PT Desktop Adapter NIC ■ Sun PCIe x4 Dual GigabitEthernet NIC ■ Sun PCIe x4 Dual GigabitEthernet NIC (ファイバ)
サポートされるビデオカード	<ul style="list-style-type: none"> ■ Nvidia Quadro FX5800 グラフィックスアクセラレータカード ■ Nvidia Quadro FX3800 グラフィックスアクセラレータカード ■ Nvidia Quadro FX1800 グラフィックスアクセラレータカード ■ Nvidia Quadro FX380 グラフィックスアクセラレータカード ■ DVI-VGA アダプタケーブル
サポートされるストレージ HBA	LSI Logic™ 3041E4 ポート内部 (専用) SAS アダプタ
PCIe I/O および PCI I/O	<ul style="list-style-type: none"> ■ PCIe2 (5.0 GT/秒) x16 スロット×2 ■ PCIe2 (5.0 GT/秒) x4 スロット×1 ■ PCIe (2.5 GT/秒) x1 スロット×1 ■ PCIe (2.5 GT/秒) x4 スロット×1 ■ PCI 33 MHz 32 ビットスロット×1
その他の I/O	<ul style="list-style-type: none"> ■ USB 2.0 ポート×8 (前面に 2 個、背面に 4 個、2 個内蔵) ■ オーディオポート×5 (前面にマイクロフォンおよびヘッドホン用、背面にライン入力、ライン出力、およびマイクロフォン用) ■ IEEE 1394 コネクタ×2 (フロントパネル)

PCIe および PCI 拡張スロット

表 C-2 に、使用可能な PCIe および PCI 拡張スロットの特性を一覧します。

表 C-2 Sun Ultra 27 ワークステーションの拡張スロット

スロット番号	タイプ	サイズ	最大幅	最大電力負荷	長さ	高さ	説明	位置
—	カバープレート、スロットなし	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a

表 C-2 Sun Ultra 27 ワークステーションの拡張スロット (続き)

スロット番号	タイプ	サイズ	最大幅	最大電力負荷	長さ	高さ	説明	位置
0	PCIe 2 (5.0 GT/秒)	x16	x16	225 W (75 W + 150 W 拡張) ¹	3/4	フル	サポートされるグラフィックスアクセラレータカード用 (セカンダリ)	上部
1	PCIe2 (5.0 GT/秒)	x8	x4	25 W ²	3/4	フル	グラフィックスアクセラレータ用ではありません。NICなどのPCIe 拡張カード用。	2 番目
2	PCIe2 (5.0 GT/秒) (デフォルトのグラフィックス出力)	x16	x16	225 W (75 W + 150 W 拡張) ³	フル	フル	サポートされるグラフィックスアクセラレータカード用 (プライマリ)	3 番目
3	PCIe (2.5 GT/秒)	x1	x1	25 W ⁴	フル	フル	グラフィックスカード用ではありません。NICなどのPCIe 拡張カード用。	4 番目
4	PCI		32 ビット	25 W	フル	フル	32 ビット PCI カード用	5 番目
5	PCIe (2.5 GT/秒)	x8	x4	25 W	フル	フル	グラフィックスカード用ではありません。NICなどのPCIe 拡張カード用。	6 番目

¹ PCIe2 スロットとの組み合わせ

² ビデオカードが取り付けられていない場合は、PCIe0 スロット。

³ PCIe0 スロットとの組み合わせ

⁴ ビデオカードが取り付けられていない場合は、PCIe2 スロット。

その他のポート

表 C-3 にその他のワークステーションポートとそれぞれの最大電力負荷を一覧します。

表 C-3 その他のポートの最大電力負荷

ポート	最大電力負荷
USB	2.5 W (それぞれ)
1394	18 W (それぞれ)

メモリーのルールとサポートされる構成

Sun Ultra 27 ワークステーションには、3つのチャンネルに分割される6個のDIMM スロットがあります(チャンネルごとに2個のスロット)。スロットは色分けされ(3個は青、3個は黒)、DIMM 0 (CPUにもっとも近い)からDIMM 5 (CPUからもっとも遠い)の番号が付けられています。

メモリー割り当てルール

次のルールに従ってスロットを割り当てます。

- ワークステーションには、DDR3-1066/1333 Unbuffered ECC DIMM が必要です。
- サポートされているサイズと周波数: 1 Gバイトまたは2 Gバイトの 1066 MHz および 1333 MHz DIMM (サポートされているハードウェアおよびその他のワークステーションに関連する問題については、『Sun Ultra 27 ワークステーション ご使用にあたって』を参照してください)。

注 -DDR3 インタフェースは、フル速度で稼動する DDR3-1066 DIMM を最大 6 枚までサポートします。

- DIMM は3つのグループに取り付ける必要があります(単一の DIMM 構成の場合は除く)。
- 単一の DIMM 構成は、1 Gバイト DIMM の場合のみサポートされています。
- 38 ページの「サポートされているメモリー構成」セクションに記載されたサポートされているメモリー構成に従って、DIMM を割り当てます。

サポートされているメモリー構成

次に、Sun Ultra 27 ワークステーションでサポートされているメモリー構成のリストを示します。これらの構成は、サポートされている DIMM の組み合わせによるのみ有効です。

- スロット 1 に装備された 1 枚の 1 Gバイト DIMM (1 Gバイト DIMM のみ)

- スロット 1、3、5 のみに装備された DIMM (黒色のスロットのみ)
- すべての DIMM スロットに装着

物理仕様

表 C-4 に、Sun Ultra 27 ワークステーションの物理仕様を一覧します。

表 C-4 Sun Ultra 27 ワークステーションの物理仕様

仕様	イギリス単位系	メートル法
幅	7.9 インチ	200 mm
奥行	18.5 インチ	470 mm
高さ	17.1 インチ	435 mm
重量 (梱包時最大)	43.7 ポンド	19.8 kg

電力仕様

Sun Ultra 27 ワークステーションの最大持続電力は 530 W です。

表 C-5、表 C-6、および表 C-7 に、システムのその他の電力仕様を一覧します。

表 C-5 入力電圧の範囲

入力電圧	最小	公称	最大	単位
範囲 1	90	115	132	Vrms
範囲 2	180	230	264	Vrms

表 C-6 入力周波数の範囲

入力周波数	最小	公称	最大	単位
範囲 1	57	60	63	Hz
範囲 2	47	50	53	Hz

表 C-7 入力電流

入力電圧	最大入力電流	最大流入電流
範囲	8 A	200 A (ピーク時)

環境仕様

表 C-8 に、Sun Ultra 27 ワークステーションの環境仕様を一覧します。

表 C-8 Sun Ultra 27 ワークステーションの環境仕様

仕様	状態	イギリス単位系	メートル法
湿度	動作時	7 潤ち 93% RH 結露なし、100.4° F 最大湿球温度	7 潤ち 93% RH 結露なし、38° C 最大湿球温度
	非動作時	93% RH 結露なし、109.4° F 最大湿球温度	93% RH 結露なし、43° C 最大湿球温度
振動	動作時	すべての軸で 0.25 G、5 潤ち 500 Hz 正弦	
	非動作時	すべての軸で 1.2 G、5 潤ち 500 Hz 正弦	
衝撃	動作時	4.5 G、11 ミリ秒半正弦	
温度	動作時	41 潤ち 95° F	5 潤ち 35° C
	非動作時	-40 潤ち 149° F	-40 潤ち 65° C
最大定格動作温度		高度 985 フィートごとに -1.8° F	高度 300 m ごとに -1° C
高度	動作時	最大 9,843 フィート	最大 3,000 m
	非動作時	最大 39,370 フィート	最大 12,000 m

索引

B

BIOS 設定ユーティリティー、アクセス, 16

D

DB15 VGA グラフィックスコネクタ, 36

E

Erase Primary Boot Hard Disk (プライマリ起動
ハードディスクの消去) ユーティリティー, 23

I

IEEE 1394, 36

N

NetBeans IDE, 22

P

Pc-Check ソフトウェア, 23
PCI-E, スロット仕, 36

S

Solaris 10 OS
ハードディスクのパーティション, 18
復元または再インストール, 21
ライセンス, 18
Solaris 10 OS の使用許諾, 18
Sun Studio 12 ソフトウェア, 22

T

Tools and Drivers DVD, 9, 23, 25-27

あ

安全に関する情報, 7

お

オプションのコンポーネント、追加, 16

か

拡張スロット, 36
環境仕様, 40

き

起動デバイス、追加および削除, 16

こ

コンポーネントの注文方法, 8

さ

サポート, 5

サポートされているオペレーティングシステム,
オペレーティングシステム、サポートされてい
る, 17

し

システム, コンポーネントと機能, 35

システム仕様

拡張スロット, 36

環境, 40

主要なコンポーネント, 35

電力, 39

物理, 39

仕様

環境, 40

電力, 39-40

物理, 39

そ

ソフトウェア, Tools and Drivers DVD, 23

て

電源, 仕様, 39-40

電源スイッチ, 11

電源の投入および切断, 14

と

ドライバ, 23

ドライバ, 補助, 23

トレーニング, 5

は

ハードディスクのパーティション、Solaris 10
OS, 18

パッケージの内容, 9

ふ

物理仕様, サイズおよび重量, 39

プリインストールされたソフトウェア

NetBeans IDE, 22

Sun Studio 12, 22

プリインストールされたソフトウェア, 21

ま

マニュアル、関連, 5

め

メモリーのルールとサポートされる構成, 38-39

ゆ

ユーティリティ, 23